

令和7年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	①	学校名	盲学校
----	---	-----	-----

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	学校見学・体験会「いくならみるなら盲学校」
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	理療基礎実習、理療臨床実習
連携・協働相手	県民だよりやチラシの配布により、県民へ周知した上で参加を希望した方
地域と共有している目標・課題等	地域住民をはじめとした他校の生徒や教職員たちを迎え、本校や生徒が使用している視覚障害に特化した福祉機器の紹介。 視覚障害や視覚障害教育への理解の促進。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>各学部の授業見学や視覚障害に特化した福祉機器の紹介等を行い、県内唯一の盲学校である本校について広く知っていただき、地域と生徒のつながりを深める。</p> <p>鍼実技の見学やあんまマッサージ指圧を体験してもらい、「理療」という職業自立を志す生徒の取組を知っていただく。</p>	

2. 事業の成果と課題

<p>盲学校には3歳から60歳代まで幅広い年齢の生徒が在籍しており、各学部の授業や寄宿舎の取組について紹介した。特に「理療」という専門教育を見学者に知ってもらうよい機会となった。</p> <p>あんまマッサージの体験会では、生徒も見学者も当初はとても緊張している様子だったが会話を通じてお互いに和やかな雰囲気の中で体験してもらうことができた。また鍼実技の授業では背腰部に刺鍼している様子を見てもらった。見学者から「痛くないのですか？」との質問に「細い針なので痛くないですよ」と積極的に説明する生徒もいた。</p> <p>参加者からは「あんまや鍼といった貴重な体験ができてよかった」「普段見ることのない生徒さんの生活や様子が知れて良かった」「多くの先生方に見守られて安心して生活している様子が伝わりました」といった感想をいただいた。</p> <p>視覚障害をもつ学齢の子供だけでなく、途中で視覚障害となった成人生徒も職業的自立を志し国家試験の合格に向けて勉学に励んでいることを知ってもらいたい。そして「理療」への理解につながることを期待する。</p>
--